

ぼくのこん虫の森 開催中

杉並区役所2階区民ギャラリーにて、展示「ぼくのこん虫の森」が開催され、多くの来場者でにぎわっていました。この展示を企画したのは、区立八成小学校3年生の山田 楽（がく）君。作品には展示を見てくれた人が緑や生き物を大切にしてくれたらいいなという思いがこめられています。展示は10月20日まで行われていますので、ぜひご来場ください。

主催者の杉並区立八成（はちなり）小学校3年生 山田 楽（がく）君は3歳のころから虫採りを始め、自宅に虫の家をつくり飼育したり、絵画や立体作品を制作してきました。

そして、世界中で生き物が絶滅したり減っていくことを知り、大好きな生き物を大切にしたいという思いが芽生えました。



今年7月、区の発行物で区民ギャラリーの募集記事を見つけた際、自分の作品を見てくれた人に生き物を大切に思ってもらいたいと、自身で応募を決め、一番好きな昆虫であるカマキリの絵を描いた応募ハガキを区役所に送りました。区の担当職員も、最年少の応募に驚いたそうです。

こうした決断の背景には、担任の先生が楽君に贈った、「思っただけではなく行動しなければいけない」という言葉があったといいます。

10月10日から始まった展示「ぼくのこん虫の森」では楽君が制作した昆虫の絵画や、新聞紙・折り紙などで作られた作品の数々が展示されています。会場のレイアウトも本人が手がけ、入り口に吊るされた、針金やモールの昆虫たちも楽君のアイデアです。



楽君の一番の力作は、会場中央にある大きな木の立体作品です。自身より大きなこの木には、カブトムシやクワガタなどたくさんの昆虫が住んでいます。今回の展示のために、2日間で制作したとは思えない大作です。

楽君のお母さんは、「飼ったりすることに抵抗があった虫もいたけれど、今は慣れました。本人のやりたいことを後押ししてあげたいし、私も生き物について色々なことが知れて楽しいです。」と話していました。

楽君の願いが詰まった展示「ぼくのこん虫の森」は、10月20日まで行われます。
(平日のみ／午前9時～午後5時 最終日は正午まで)

【問い合わせ先】

区民生活部文化交流課：03-3312-2111 内線3783
総務部広報課：03-3312-2111 内線1503